

# 日中経済貿易協カシンポジウム——水素、第三国市場

2023年10月26日 @北京市大興区

## 【リアル参加】：

(午前)交流会会場：中日イノベーション協カモデル区 12号樓 (@大興区金盛大街2号院)

(午後)視察先：大興区国際水素示範区、京東亞洲一号北京物流園 (集合バスで移動)

## 【午前・交流会：09:00－12:30】：

08:00－09:00 会場1階で受付、その後、

① 展示パネルの自由見学 @会場1階

② 「中日イノベーション協カモデル」の見学 @5号樓(会場隣のビル)

09:00－09:05 司会者による開幕宣言

09:05－09:10 中国商務部・副部長：李 飛 (ビデオ挨拶)

09:10－09:15 日本経済産業省・経済産業審議官：保坂 伸 (ビデオ挨拶)

09:15－09:20 中国商務部アジア司・副司長：羅 曉梅

09:20－09:25 駐中国日本大使館・経済部公使：上野 麻子

09:25－09:30 大興区人民政府・常務副区長：劉 洋

09:30－09:35 日本貿易振興機構(JETRO)・北京事務所長：小野寺 修

09:35－09:40 中国機電産品輸出入商会・副会長：劉 春

09:40－09:45 日中経済協会北京事務・所長：宮下 正己

09:45－09:55 中国国際経済交流センター・科研情報部・部長・景 春梅

09:55－10:05 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)・北京事務所長：黒田 嘉彰

10:05－10:15 清華大学原子力と新エネルギー技術研究院教授・毛 宗強

10:15－10:30 休憩

10:30－12:00 日中企業による講演 (各4名、10分程度)

● 北京日中産業モデル区・総経理：張 根学

● 日立造船株式会社・PtG 技術部 PtG 開発グループ長：泉屋 宏一

● 中能建氢能・副総経理：劉 大為

● 松下電器(中国)有限公司・総裁：趙 炳弟

● 清啓動力(北京)科技有限公司・総経理：劉 海旭

● 豊田汽車(中国)投資有限公司・TMC I 総監/FCRD 副総経理：楊 凱

● 億華通製造・総監：牟 曉潔

● 堀場(中国)貿易株式会社・新エネルギー事業開発マネージャー：呂 岩

12:00－12:05 交流会終了

## 【オンライン・アクセス】

下記のQRコード か リンク先：<https://live.qing.tv/event/31527243>  
にアクセスしていただき、当日の生放送に繋がります。



【午後・視察：14:00－17:30】：

視察先：大興区国際水素示範区、京東亜洲一号北京物流園

路線①、②に分かれて、交互視察・交流(質疑応答)・写真撮影

**\*(ショールーム・企業内・京東園内)内部は全て撮影禁止**

路線①：案内担当係：(日本)宮尾、劉 中国(乔楚薇)。\*受付のバッチに**黄色シール・計 39 名(日)**

移動（〈会場〉⇒ 大興区国際水素モデル区）

視察@大興区国際水素モデル区(ショールーム、水素ステーション)

視察@大興区国際水素モデル区(億華通)

視察@大興区国際水素モデル区(嘉清新エネルギー)

視察@京東亜洲一号北京物流園、園内企業(愛徳曼能源)

移動(愛徳曼能源 ⇒ 会場 ⇒ 送迎バスに乗り換え OR 自社車輜で、復路)

路線②：案内担当係：(日本)清水、谷川 中国(冯剛) \*受付のバッチに**青色シール・計 38 名(日)**

移動（〈会場〉⇒ 京東亜洲一号北京物流園）

視察@京東亜洲一号北京物流園、園内企業(愛徳曼能源)

視察@大興区国際水素モデル区(嘉清新エネルギー)

視察@大興区国際水素モデル区(ショールーム、水素ステーション)

視察@大興区国際水素モデル区(億華通)

移動(億華通 ⇒ 会場 ⇒ 送迎バスに乗り換え OR 自社車輜で、復路)

## ● 集合バスで移動: 14km で、30 分±

〈会場〉中日イノベーション協力モデル区⇒北京大興国際水素モデル区、京東亜洲一号北京物流園北区



● 位置關係全体像：



路線①:会場→北京大興国際水素モデル区→京東亜洲一号北京物流園

● 北京大興国際水素モデル区・ショールームから下車



● 北京大興国際水素モデル区：ショールーム(集合写真)⇒水素ステーション⇒億華通⇒嘉清新エネルギー

**A. ショールーム(30分) 1430~1500**

▶大興区国営企業が紹介 (20分)

▶\*集合写真撮影📷(5~10分)

徒歩(すぐ隣)

**B. 水素ステーション(30分) 1500~1530**

▶海珀尔中国民営企業が紹介

徒歩5分±

**D. 嘉清新エネルギー(20分) 1555~1615**

▶見学内容：show-room、組立ライン

バス移動(5分±)

**C. 億華通(15分) 1535~1550**

▶見学内容：show-room、組立ライン

\*工場見学用の特殊服装あり

バス移動(5分±)

**E. 南区愛徳曼能源(15分) 1620~1635**

▶見学内容：show-room、水素トラック

バス移動(5分±)

**F. 京東亜洲一号北京物流園北区(30分)**

**1640~1710**

▶見学内容：show-room(既定路線あり)

自由  
解散

会場で送迎バスに乗り換え・復路

1755~1840



乗車・会場まで移動

1715~1745

● 京東亜洲一号北京物流園：

北区の選別センタ⇒南区の企業(愛徳曼能源：水素トラック)⇒会場へ移動⇒(\*乗換)復路バス

路線②：会場→京東亜洲一号北京物流園→北京大興国際水素モデル区  
 京東亜洲一号北京物流園北区・選別センタ(分拣中心)から下車)



- 京東亜洲一号北京物流園：北区の選別センタ⇒南区の企業(愛徳曼能源：水素トラック)

**F. 北区選別センタ(分拣中心) (30分)**

1430～1500

▶見学内容：show-room(既定視察路線あり)

バス移動(5分±)

**E. 南区愛徳曼能源(15分)1505～1520**

▶見学内容：show-room、水素トラック

バス移動(5分±)

**A. ショールーム(30分)1550～1620**

▶大興区国営企業が紹介(20分)

▶\*集合写真撮影 (10分)

バス移動(5分±)

**D. 嘉清新エネルギー(20分)1525～1545**

▶見学内容：show-room、組立ライン

徒歩すぐ隣

**B. 水素ステーション(30分) 1620～1650**

▶海珀尔中国民营企业を紹介

徒歩(5分±)

**C. 億華通(15分) 1655～1710**

▶見学内容：show-room、組立ライン

\*工場見学用の特殊服装あり

自由  
解散

会場で送迎バスに乗り換え・復路

1755～1840



乗車・会場まで移動

1715～1745

- 北京大興国際水素モデル区：

嘉清新エネルギー⇒ステーション⇒ショールーム(集合写真)⇒億華通⇒会場へ移動⇒(\*乗換)復路バス

## 【視察先紹介】

北京大興国際水素モデル区：ショールーム、水素ステーション、嘉清新エネルギー、億華通

### 北京大興国際水素モデル区：

#### プロジェクトのハイライト：

北京大興国際水素モデル区の核心エリアの敷地面積は 20.8 ヘクタール、36 万㎡で、北京清華工業開発研究院の産業資源優勢に依拠して、企業と人材をめぐって「革新企業サービス生態」と「人材生活サービス生態」からなる全方位創造生態サービスシステムを構築し、研究開発、テスト、生産、生活などの機能を一体化した水素エネルギー科学技術園区を構築する。

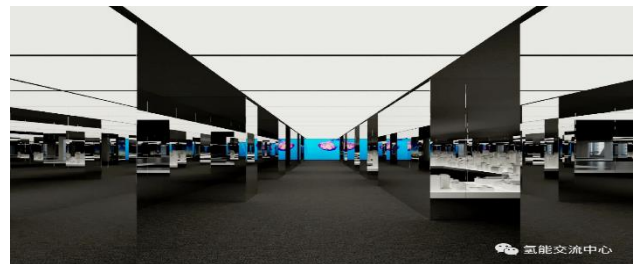


北京大興国際水素モデル区の建築面積は約 4880 平方メートルで、1 階は展示空間、2 階は事務、会議空間である。

## 【ショールーム】



阳光大厅



展品空间

## 【水素ステーション】



【億華通(北京聚興華通氢能科技有限公司)】：(水素燃料電池システム)



**プロジェクトのハイライト**：同社は北京億華通科学技術株式会社の大興における完全子会社であり、主に**燃料電池システム、電気炉及び膜電極**の生産と関連製品のテストを配置し、12月に工場建物の使用を開始する予定である。

**北京億華通**は中国の水素燃料電池エンジンの先駆者であり指導者であり、国内初の燃料電池企業であり、科学創板コード[688339]、すでに自主水素燃料電池エンジンを核心とし、双極板、電気炉、完成車コントローラ、インテリジェント DC/DC、水素システム、試験設備、燃料電池実験室の完全なソリューションなどを含む縦方向一体化製品とサービスシステムを形成している。

**産業面では**、宇通、福田、中通、申龍、蘇州金龍、安凱、中植、東風、重汽、陝西汽、北汽、広汽、長安などの企業と協力し、共同で客車、物流車、乗用車、フォークリフト、路面電車、固定電源などの全シリーズの製品を発売した。

【嘉清新エネルギー（北京嘉清新能源科技有限公司）】：（氢燃料電池金属双極板水冷電堆）



北京嘉清新エネルギー科学技術有限公司は2019年に北京市大興区に設立され、水素燃料電池、金属二極板水冷電気炉の研究開発と生産に力を入れ、北京大興国際水素エネルギーモデル区に入居した最初の企業である。

北京嘉清は水素燃料電池システムと金属二極板水冷電気炉の研究開発と生産に従事し、チームは自主革新を堅持し、製品の系統がそろっており、開発生産された180キロワット、120キロワット、80キロワットなどの異なる型番とシリーズの電気炉製品は、すでに中汽研自動車検査センターなど多くの第三者権威ある試験機関の反復試験認証に合格した。

北京嘉清は完全な知的財産権体系を構築し、製品の完全なコア技術と完全に自主的な知的財産権を持ち、金属双極板、電気コアモジュール化、スタック戦略、電気スタック制御戦略などの重要なコア技術を持っている。

三一重工は嘉清電気炉が開発した120キロワット水素燃料電池エンジンシステムに基づいて開発した31トンのダンプ車を採用し、2023年に北京市で規模化のモデル運営を展開した。嘉清と航天科工が共同開発した110トンの鉸カードは国家エネルギーグループの鉸カードプロジェクトを落札した、嘉清製品はエネルギー貯蔵、鉸カード、重カード、自転車、ドローンなどの分野で規模化応用を展開している。科学技術日報と人民日報はそれぞれ嘉清に対して特別報道を行ったことがある。

北京嘉清は設立以来、すでに大興園區に累計5000万元以上の資金を投入し、嘉清の研究開発基地、テストセンター、年間180キロワットの電気炉とシステムの生産能力を100基セット生産する生産基地を建設した。

北京嘉清は技術的優位性を基礎に、燃料電池界の「寧徳時代」を大興で築く。



- 京東亞州一號北京物流園北區の選別センター、南區の企業(愛德曼能源：水素トラック)

【北區の選別センター(分揀中心)】



【愛德曼能源：水素トラック】

エドマン（北京）水素エネルギー科学技術有限公司は水素燃料電池生産企業であり、金属双極板、膜電極、陽子膜燃料電池及び燃料電池システムを自主的に研究開発及び生産する能力を持っている。会社は先進的なプレス、レーザー溶接、真空コーティング、CCMなどの核心技術は、年産2000セットの金属板水素燃料電池及びシステム製造生産ラインを建設した。コア重要部品の金属二重極板と膜電極はいずれも自主革新と生産である。

エドマン（北京）水素エネルギー科学技術有限公司（北京エドマンと略称する）はエドマン水素エネルギー装備有限公司（エドマンと略称する）の完全子会社であり、エドマン水素エネルギーは国家級専精特新小巨人企業であり、国内最大規模の金属板燃料電池システムサプライヤーであり、現在浙江嘉善、広東佛山、上海青浦、山東淄博、北京大興の5つの基地を建設している。